



肺がんに立ち向かう —— 多職種連携による最前線の治療

近年、がんの原因遺伝子を標的とした分子標的薬や自己の免疫細胞を活性化し抗がん作用を発揮する免疫チェックポイント阻害薬の登場により、肺がん薬物療法は目覚ましく進歩しています。患者さんそれぞれのがん組織から遺伝子変異や免疫マーカーを検査し、その結果からその患者さんに最も適した治療薬を選択することが非常に重要となっています。当院では、気管支鏡検査（EBUS-GS、EBUS-TBNA）、局所麻酔下胸腔鏡、CTガイド下生検、外科生検など多種の検査によって遺伝子検査に十分な組織採取ができるように努めております。分子標的治療や免疫治療は、進行期の薬物治療としてのみではなく、手術や放射線治療との組み

合わせも適応となっており、今まで以上に外科や放射線治療科との連携による集学的な治療が重要な時代となっています。当院では、週に1回の呼吸器カンファレンスで呼吸器外科、放射線治療科と合同で集学的な治療方針を患者さん毎に協議しています。また徳洲会グループの全国の他施設と基幹施設間でセキュリティシステムが極めて高度なシステムを用いた「徳洲会がんサードボード」を週に1回開催し、多くの意見をもとに協議することで適切な標準治療の提供が行えるように尽力しております。積極的な治療ができない、あるいは希望されない際には、当院は緩和病棟も併設されているため緩和ケア内科と連携した緩和治療を行わせていただきます。

● 対象疾患

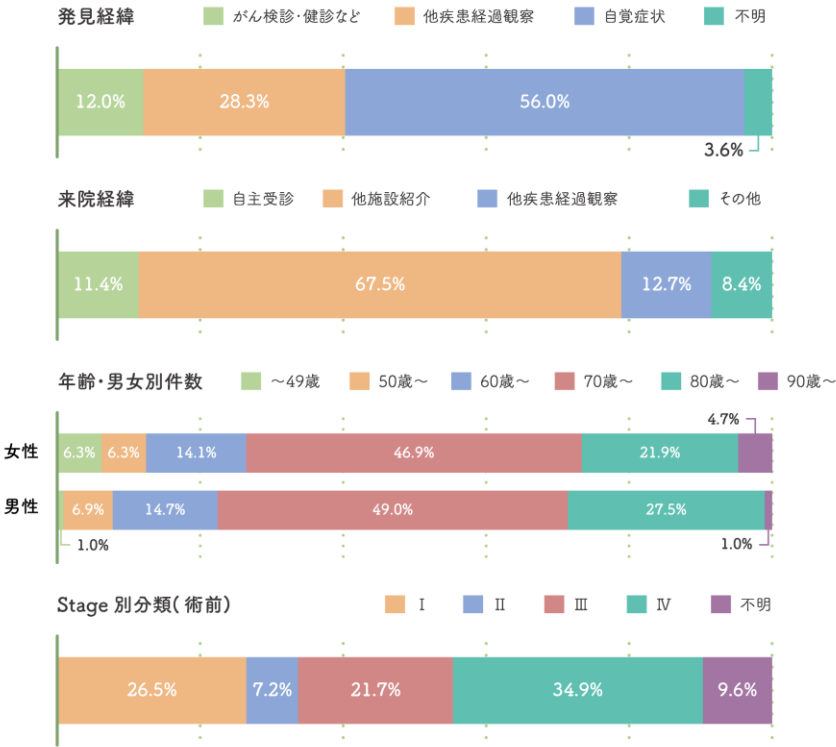


肺がん

● 医師

部長 齊藤 昌彦	部長 千原 佑介	医員 今里 優希	医員 石崎 直子	医員 森戸 翔基	医員 河合 正旺
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

肺がん登録件数 166件 (2023年)



内科領域診療実績

手術件数	2021年	2022年	2023年
気管支鏡	335	253	248
胸腔鏡	9	6	14
EBUS-TBNA	37	18	29
EWS	1	0	0
ステント留置	2	0	0

化学療法件数	1314	1139	1024
--------	------	------	------

外科領域診療実績

手術件数	2021年	2022年	2023年
全手術総数	1101	1167	1033
鏡視下手術	516	587	545
全身麻酔手術	974	1061	941
緊急手術	237	280	228

呼吸器外科手術			
全身麻酔下手術総数	88	106	112
鏡視下手術			
うち胸腔鏡下手術	87	102	100
内視鏡支援手術ロボット	0	0	0
胸部悪性腫瘍	50	65	56
原発性肺癌	43	49	45
転移性肺腫瘍	5	15	9
縦隔腫瘍	3	2	9
うち胸腺腫	2	1	2